おおきなにわに、いろんなきぎや、はながさき、やちょうがさえずる、みどりのとしょかん

大泉図書館だより

令和7年6月1日　第108号

大泉図書館キャラクター
おおちゃん　いずみん

大泉図書館からのお知らせ

第28回「本でつながる大泉読書サロン」を開催しました。

開催日時:5月17日(土)14:00~15:30　参加者:7人

おすすめ本の発表は、ひとり1～数冊、ジャンルにとらわれることなく自由な形で紹介していただき、紹介した本は、テーブルを1台用意して、そこに置いて各自でご覧いただくようにしました。また、紹介本のPOP作成にあたって、それぞれ決めたしるしやイニシャルなどを記入していただき、おすすめした人の本の傾向をわかるようにしました。作成したPOPは、5月19日(月)より1階文庫コーナーにて、紹介本(大泉所蔵の場合)と一緒に1ヶ月間展示します。次回は、2F会議室にて7月19日(土)14時から15時30分開催を予定しています。

大泉読書サロンとは

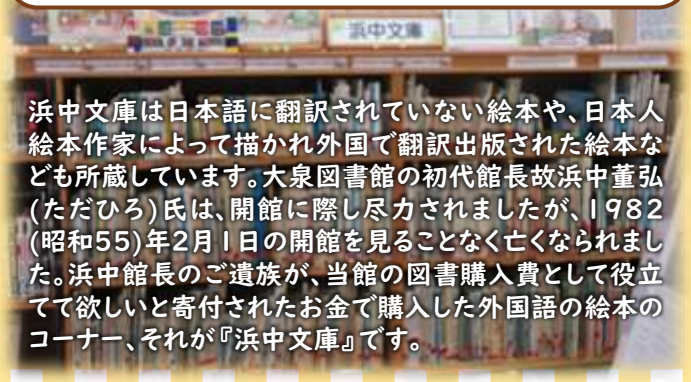
このイベントは、奇数月の第3土曜日に開催しています。毎回テーマは決めず、参加された方は、紹介する本を5分程度にて発表しています。見学も大歓迎です。

5月の「浜中文庫を楽しむ会」で紹介された1冊

「Benjamin’s 365 birthdays
(1ねんに365のたんじょう日プレゼントをもらったベンジャミンのおはなし)」
Written by Judith Barrett, Drawn by Ron Barrett

4月6日は、Benjaminの9才の誕生日です。友達はそれぞれBenjaminの喜びそうな贈り物を手渡します。Benjaminは、何が入っているかなあとわくわくしながらリボンをほどき、包装紙を開いているうちに、箱の中身より包みを開くことの方が気に入ります。そして、次の誕生日は、1年後だと涙にくれているうちに名案が浮かびます。それは、夜、好きな物を包装し、朝、包みを開くと誕生日を祝えることになると。友達の贈り物、家にあるお気に入りの物を次々と包み、朝開いて、365日、誕生日です。さて、10才の誕生日にBenjaminは、何を自分にプレゼントしたのでしょうか？

現在の会員数は10名程。毎月、大泉図書館の会議室を利用して活動しています。毎回、浜中文庫コーナーの中から作品を選び原文と翻訳、選定理由を発表していきながら作品を味わい深く知ることを目的とした会です。



浜中文庫は日本語に翻訳されていない絵本や、日本人絵本作家によって描かれ外国で翻訳出版された絵本なども所蔵しています。大泉図書館の初代館長故浜中董弘(ただひろ)氏は、開館に際し尽力されましたが、1982(昭和55)年2月1日の開館を見ることなく亡くなられました。浜中館長のご遺族が、当館の図書購入費として役立てて欲しいと寄付されたお金で購入した外国語の絵本のコーナー、それが『浜中文庫』です。

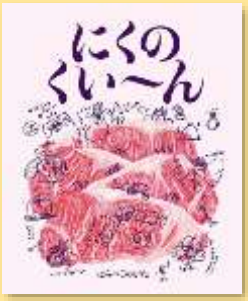
図書館員おすすめ!!

一般書

『古本屋の誕生 東京古書店史』
鹿島茂/著 草思社 請求記号024

年代別に製作された書物を古典籍、古書、古本に分類して、古書店と古本屋の違いを定義し、江戸・明治・大正・昭和とつづく古書店の歴史を紐解きます。古書店を守り発展させ続ける書籍の文化を感じさせる１冊。 (K.A)

児童書



『にくのくいーん』
はらぺこめがね/作 教育画劇 請求記号EBﾊ

肉の国の、おきさきさまたちが、じまんの肉料理を持ち寄ってランチパーティーのはじまりです。ローストビーフ、カラアゲ、ハンバーグなど、次々と料理が登場します。絵を見ているとおなかが空いてくること間違いなしの絵本です。 (K.A)

一般書

『民俗学で考える』
新谷尚紀・岸澤美希/著 KADOKAWA 請求記号380

伝説や民話の研究などに目を向けられがちですが、私たちの生活の変化をデータを集めて客観的に分析するのが「民俗学」という学問。衣食住や仕事、お金のことなど、歴史学でも社会学でもない新たな視点で、ものごとを考えるおもしろさを教えてくれる一冊です。 (Y.T)

青少年

『フェルトでつくる推し活GOODS』
寺西恵里子/著 日本ヴォーグ社
請求記号Y594

若者を中心に広まっている「推し活」。この本には、推し活をより楽しくするための、お守り、ストラップ、フォトフレームなどフェルトを使った作り方が紹介されています。簡単なものは、切って貼るだけ！自分だけの推し活グッズ作りに挑戦してみましょう。 (S.S)

ミニライブラリーニュース(5/27～6/22)より抜粋　オリジナル版は1階男子・女子トイレにてご覧いただけます

テーマ『花のチカラはビタミンF』

『花と器の素敵な合わせ方』小川典子/著 誠文堂新光社 請求記号793
花がある空間は様々な「幸せ効果」をもたらしてくれるそうです。その効果を「花のチカラ=ビタミンF(flowerのF)」といいます。花器から日常に使われる食器や空瓶などの生け方、季節に合わせた生け方、花の特徴や季節の紹介もあり、読むうちに花を生けてみたくなります。

『花屋さんが言うことには』山本幸久/著 ポプラ社 請求記号ﾔﾏ
美大のデザイン科を卒業、しかしデザインとは全く無縁のブラック企業をやっと退職したのも束の間、とある事で花屋のアルバイトをすることになった主人公。知り合いもいなかった町での生活が花屋を通し前向きになっていく、お花8種の章に分かれた短編集です。

テーマ『それぞれの冒険』

『最後の冒険家』石川直樹/著 集英社 請求記号ｲｼ
2008年に自作の熱気球で太平洋単独横断に挑み、アメリカ領域の海上で消息を絶った冒険家、神田道夫を知っていますか。筆者である写真家・石川直樹が自身の体験を淡々と語り、適度な距離感で神田の再挑戦を記録した本作。冒険とは何なのか、その本質に迫ります。

『ザ・ノース・フェイスの創業者はなぜ会社を売ってパタゴニアに100万エーカーの荒野を買ったのか？ ダグ・トンプキンスの冒険人生』ジョナサン・フランクリン/著 井口耕二/訳 山と渓谷社 請求記号786
「楽な南壁より、かたく凍っている北壁(ノースフェイス)の方が難しくて登りがいがある、人生もそうでありたい」と語ったダグ・トンプキンス。一流の登山家であり起業家でもある彼の雄大で波乱に満ちた人生を辿る本作。ダグの冒険人生を堪能できる読み応えある一冊です。

※ミニライブラリーニュース：大泉図書館の図書館員が決めたテーマに基づき、毎月2冊ずつ大泉所蔵の本を紹介しています。

6月の企画展示　展示期間 5月27日～6月22日

一般・特集「Tick Tack～時の記念日～」
6月10日の時の記念日にちなんで、時間や時計をテーマにした本を集めて展示します。

生活・くらしの特集「華のある日々を！！」
花の咲く季節にちなんで、花モチーフの手芸やお菓子作りの本、豪華な料理やテーブルセッティングなどの本を集めて展示します。

地域展示「わたしのまちの避難拠点」
大泉図書館のある大泉学園周辺地の避難拠点を紹介し、関連資料を展示します。

浜中文庫展示「Rain and Rainbow(雨と虹)」
梅雨時に、雨と虹が印象的な絵本を浜中文庫の中から選んでご紹介します。

青少年・特集「吾輩は○○である。」
タイトルに人や動物、主人公の名前がついている本を展示します。

児童・特集「持続可能な開発目標(SDGs)展示」
17のグローバルな目標「持続可能な開発目標(SDGs)」をふまえた関連本を集めて展示します。

視聴覚・特集「花の共演」
春にちなんで、「花の名」をテーマに幅広いジャンルのCDを展示します。

※展示資料は、貸出しできますので、お気軽に手に取ってご覧ください。

発行：練馬区立大泉図書館　指定管理者：株式会社図書館流通センター
令和７年６月１日発行　第１０８号